

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

実施計画

平成28年7月7日現在



第16回障害者芸術・文化祭実行委員会



目次

基本理念、名称、愛称・ロゴマーク、主催 マスコットキャラクター	…… 01
開催期間、開催日程等	…… 02
企画体制	…… 03
企画概要	…… 04
事業内容	…… 05
開催会場	…… 12
連携事業等	…… 13
あいち大会の特徴	…… 15
協力、後援	…… 16

基本理念

- ・障害者芸術・文化祭は、障害のある方の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害のある方の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害のある方の自立と社会参加の促進に寄与することを目的に開催します。
- ・愛知県では、従来より障害のある方の社会参加の促進に積極的に取り組んでおり、「あいちアール・ブリュッ ト展」を実施するなど、障害のある方の社会参加の機会拡大を図ってきました。
- ・障害者芸術・文化祭の開催を機に、全国的な交流を通じ、障害のある方の社会参加と障害のある方に対する理解の更なる促進を図ります。

名称 第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

愛称・ロゴマーク

ゲイジュツのチカラ・あいち

芸術には、作る人・見る人、そして、障害のある人・ない人の心を変える大きな力がある。そういう大会になって欲しいという願いをこめた。



主催 厚生労働省、愛知県、名古屋市

マスコットキャラクター

愛知県の文化事業のマスコット「からくりロボットの“ブンゾー”」をマスコットキャラクターとして活用し、「第31回国民文化祭・あいち2016」と連携を図りながら、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」の開催気運の醸成と参加意欲の喚起を図ります。



からくりロボットの“ブンゾー”

(モチーフ)

からくり人形師九代 玉屋庄兵衛氏の「茶運び人形」。からくり人形は、愛知の伝統的文化の一つである山車まつりの花形であり、その技術は、「モノづくりあいち」のルーツといわれる。愛知には、数多くのからくり人形が残されており、愛知の文化を象徴する存在の一つである。



開催期間

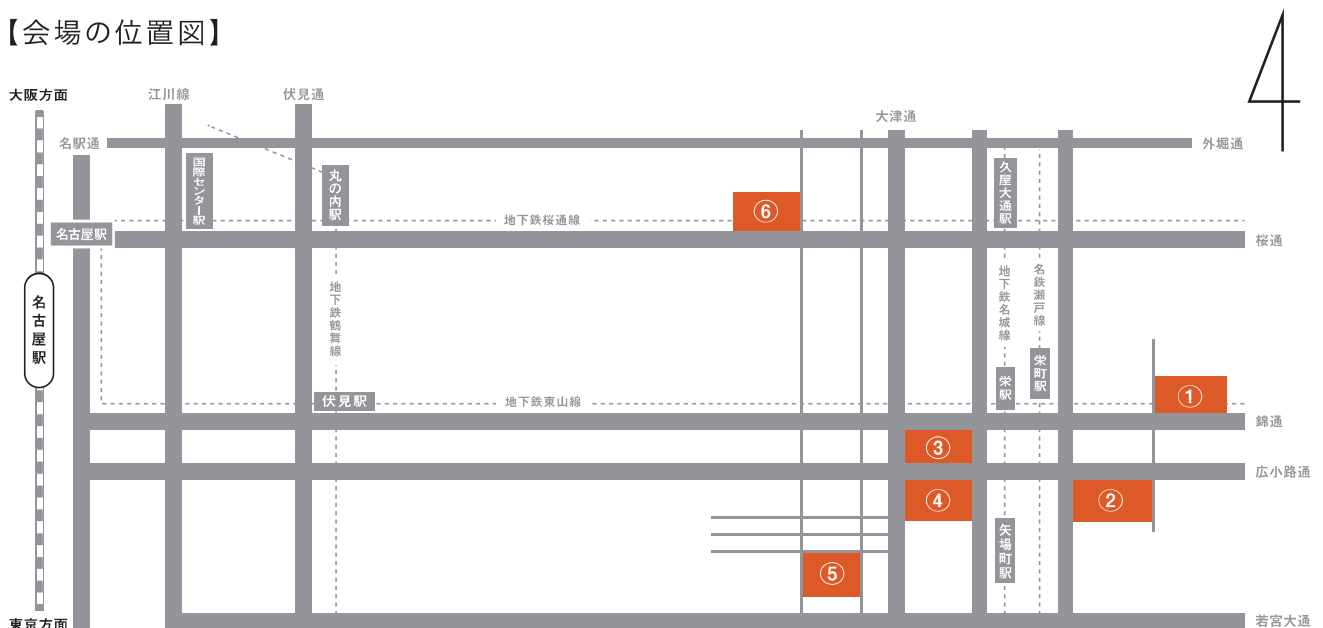
平成28年12月9日(金)～11日(日) ※美術・文芸作品展は12月3日(土)～11日(日)

開催日程等

開催日 事業内容	平成28年12月									
	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	8日 (木)	9日 (金)	10日 (土)	11日 (日)	
美術・文芸 作品展	愛知芸術文化センター ^① (12/3国民文化祭閉会式<大ホール>)						【開会式】 <大ホール>			
	名古屋市民ギャラリー栄 ^②									
							株三井住友銀行SMBCパーク栄 ^③ 名古屋栄三越 ^④			
舞台芸術							ナディアパーク ^⑤ (名古屋市青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール ^⑥			
ふれあい 交流							愛知芸術文化センター ^① 名古屋栄三越 ^④ ナディアパーク ^⑤ 【閉会式】 <ナディアパーク>			

※今後の展示・舞台等の内容により、上記区分と異なる場合があります。

【会場の位置図】



※会場間及び会場と名古屋駅をつなぐ無料シャトルバスを運行予定

企画体制

(キュレーター)

鈴木 敏 春

NPO愛知アート・コレクティブ 代表理事

1951年生まれ。1970年代から美術批評・企画展を行う。1989年～90年美術雑誌「美術手帖」展評担当。

1991年(財)名古屋市文化振興事業団主催「無冠の表現回路エコロジーアート展」企画。2003年～2007年名古屋市・ファン・デ・ナゴヤ美術展審査委員・委員長。2014年、愛知県知的障害児者生活サポート協会主催「第7回ふれあいアート展」で講演(ボーダーレスアートコレクション展を巡って)。2014年から、あいちアール・ブリュット優秀作品特別展審査委員を務める。

稲波 伸 行

株式会社RW 代表取締役

1975年 三重県出身。2001年名古屋芸術大学美術学部デザイン科卒業。2002年地域密着型デザイン事務所N/N(エヌツー)設立、2005年メイド・イン・ジャパン・プロジェクト設立に参画、2009年～2011年ナゴヤデザインウィーク実行委員長、2010年あいちトリエンナーレ2010、キッズトリエンナーレのコンセプトメイキング、空間・グラフィックデザイン等トータルプランニングを行う。あらゆるデザイン資源を活用し、社会や企業、団体の課題解決を目指す。大同大学非常勤講師。

今泉 岳 大

高浜市やきもの里かわら美術館 学芸員

1982年愛知県生まれ。武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。BankART1929を経て2009年より現職。文化庁アール・ブリュット魅力発信事業調査員、滋賀県アール・ブリュット推進事業調査員、あいちアール・ブリュット優秀作品特別展審査委員。そのほか愛知教育大学非常勤講師、日本福祉大学講師を務める。

山口 未 樹

認定特定非営利活動法人ポパイ理事長、社会福祉士、精神保健福祉士

1974年生まれ。2011年より同法人にてアートプロジェクトを開始し、ワークショップや展示会などを手掛ける。2014年、福祉を変えるアート化セミナー(たんぼの家、奈良)にて講師を務める。2015年より、障害者のアート活動をメインにした事業所「アトリエ・ブルート」をオープンさせ、創作活動と積極的な発表、発信を行っている。

山下 幸 司

NPO愛知アート・コレクティブ 理事

1961年生まれ。ギャラリーたかぎ、ICA名古屋のアシスタントスタッフを経て、(社福)愛知県厚生事業団に勤務。愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園(現、愛知県三河青い鳥医療療育センター)、知的障害者入所更生施設愛知県弥富寮(現、愛厚弥富の里)等で絵画クラブに携わる。2015年あいちアール・ブリュット出前講座講師。現在、展覧会企画(「パーブルーム大学」展等)、美術ライター、アートプロジェクト運営等に従事。

山田 梨 紗

株式会社RW

1988年生まれ。名古屋芸術大学デザイン学科スペースデザインコース卒業。2012年名古屋市中区長者町に活動拠点を構え、デザイナーとして活動中。主な実績として、ミラノサローネサテリテ2014 出展(デザイン、アートディレクション)。TOKYO DESIGNERS WEEK 2014 プロ展出展(デザイン、アートディレクション)。長者町トランジットマーケット(デザイン、企画運営)など。

(プロデューサー)

こかち ちかこ

Dance Work こかち 代表

津田塾大学学芸学部英文学科卒業。文化庁国内研修員。2005～2015年金城学院大学非常勤講師。1999年知的障害者ダンスグループ<オープンセサミ>を結成し、<Dance Work こかち><オープンセサミ>合同公演で2009年名古屋市民芸術祭特別賞受賞。2005年愛・地球博では5日間の障害者公演を企画実施。愛知芸術文化協会ANET理事。2013年あいちトリエンナーレ2013ではANET会員による『RE:Alice』演出。(一社)現代舞踊協会中部支部運営委員。

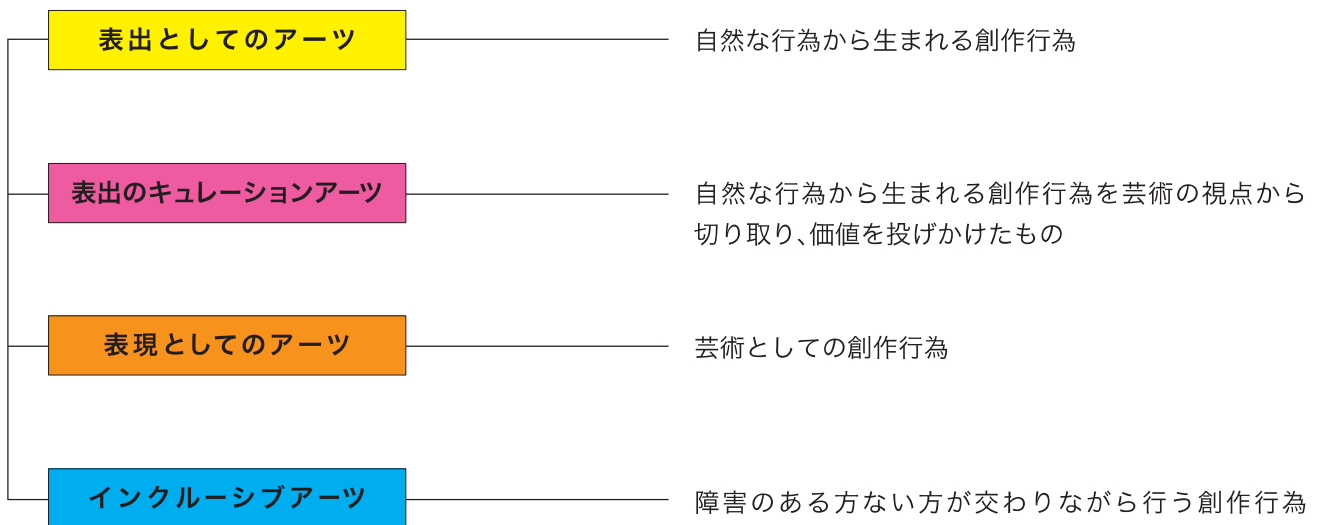
井垣 理 史

名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 講師

1973年生まれ。愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了(油画専攻)。「間」や「際」をテーマとして、インスタレーションやパフォーマンスの空間演出を中心とした制作活動を行い、舞台美術やイベントディスプレイの制作も手がける。主な実績として、2010年あいちトリエンナーレ2010、キッズトリエンナーレ「小さい美術館」展示空間設計・施工(愛知県児童総合センター)、2013～2015年「waltz (中川運河映像アーカイヴプロジェクト)」空間設計・施行担当など。

企画概要

例えば、通常、美術の展示においては、プロとアマに分けられる。更に障害のある方は分けて展示されてきた。それは、ひとえに、障害への無理解から行われていることであり、その考え方、捉え方自体が、芸術の世界での、そして障害のある方への理解を難しいものになっている。今大会では、そういったカテゴリー分けをすることで問題点を整理し、作品の内面に対しても、きちんと踏み込み紹介する。



さわ かん せい
騒げ、感性。

芸術を通じて新しい感性に出会う。

私たちが目指すのは、今日とは違う新しい社会。社会は、ただ緩やかなグラデーションを持っているだけ。

ただそれだけのはずが現実的にはボーダーがある。私たちが目指す理想は、お互いを認め合うボーダーのない社会。そのためには、新しい感性が必要だ。

人が何を思うのか。何を感じて生きているのか。お互いの感性を解放し、その呼吸を感じてほしい。その先にある新しい社会を目指して芸術でつながる新しいまつり。感じるままに、思うがままに。騒げ、感性。

事業内容 **芸術・文化祭**

美術・文芸作品(12月3日～11日)

- 全国から障害のある方又は障害のある方を含むグループの美術・文芸作品を募集し展示します。

	表出としてのアート	表出のキュレーションアート	表現としてのアート	インクルーシブアート
展示期間	平成28年12月6日(火)～11日(日)			
展示会場	名古屋市民ギャラリー栄			
ジャンル	絵画、書道、写真、彫刻、陶芸、オブジェ、刺繍、短歌、俳句、川柳 等			
応募部門	自由部門とテーマ部門(テーマ:なんだこれは!?) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> テーマ説明 </div> 思わず「なんだこれは!?!」と言ってしまうような、いわゆる「芸術」の枠にとどまらない作品を募集します。			
応募点数	1人(1グループ)1点			
応募期間	平成28年6月27日(月)～8月31日(水)			
募集作品数	500点程度			

- 県内外で活躍しているアーティストの作品や県内の市町村・団体・民間企業等の活動などを紹介します。

	表出のキュレーションアート	表現としてのアート
展示期間	平成28年12月3日(土)～11日(日)	
展示会場	愛知芸術文化センター、名古屋栄三越、株式会社三井住友銀行SMBCパーク 栄	
展示作品数	70点程度	

※主な出展作家はP6参照

- 県内から公募し、国民文化祭開催期間中(10/29～12/3)に開催する「あいちアール・ブリュット展」の中から選出した優秀作品を展示します。

	表出のキュレーションアート
展示期間	平成28年12月3日(土)～11日(日)
展示会場	愛知芸術文化センター
展示作品数	30点程度

【出展作家】



山下清「庭」1936年
(おかざき世界子ども美術博物館所蔵)

山下清(1922-1971年)

東京市浅草区(現台東区)生まれ。1934年八幡学園に入園。学園で制作した貼絵作品が同園の顧問医であった精神科医戸川行男らの目に留まり、1938年早稲田大学で開催された「特異児童劣作作品展覧会」に出品される。以後、多数の展覧会を開催。マスメディアに「日本のゴッホ」と紹介されたことや、放浪のエピソードをドラマ化した「裸の大将」はあまりに有名。



澤田真一「無題」2006年-2007年

澤田真一

1982年生まれ。滋賀県在住。2008年に作品がスイスの「アール・ブリュット・コレクション」に収蔵されている。2010年「ART BRUT JAPONAIS」(パリ・アルサンピエール美術館)出展。2012年「アール・ブリュット・ジャポネ」(高浜市やきもの里かわら美術館)出展。その他多くの展覧会で取り上げられる。2013年「第55回ヴェネチア・ビエンナーレ」出展、2014年「ボーダレス・アート・コレクションー芸術がほどいてゆく境界ー」(高浜市やきもの里かわら美術館)



岡部志士
絵画:「夏のコンポジション」2012年
立体:「コロイチ」2014年

岡部志士

1994年、石川県金沢市生まれ。2007年、自由芸術教室「HUMAN ELEMENT」にて作品制作をはじめ。岡部はまずクレヨンを用いて画面に色面を描き、色を消すようにニードルで表面の顔料を削ってゆく。そして削れたクレヨンのカスを集めて粘土のように遊びながら作品を制作するが、実は岡部自身にとっては粘土となった削りカスこそが作品であり、絵画はそのための手段なのである。2013年「伊勢市美術展覧会」奨励賞、2012年「みえ県展」入選。



岩瀬由晴「My Collection」
2013年-2014年

岩瀬由晴

1971年、愛知県安城市生まれ。5歳のころから紙ちぎりをしていた。子供のころより、自分の好きな部分を切り抜いた新聞やチラシをノートパソコンほどのサイズのダンボールにセロハンテープで貼り重ねてゆくことをライフワークとしている。この制作活動は誰かが制止するまで続けられ、新しいものに差し替えられるまで高く積みあがってゆく。制作したものはセロハンテープで全体を包み、枕などにして常に身の回りに持っている。現在も半田市の福祉施設でライフワークを続けている。



安藤昇「鹿」2012年

安藤昇

1957年生まれ。愛知県在住。1999年「第1回生の芸術フロール展」をはじめ愛知県内のさまざまなコンクールで受賞。2009年「境界なきアート展～響きあうココロへ～」(豊川市桜ヶ丘ミュージアム)出展。2012年「MO-YA-COアートプロジェクト」出展。2014年「ボーダレス・アート・コレクションー芸術がほどいてゆく境界ー」(高浜市やきもの里かわら美術館)

舞台芸術(12月9日～11日)

- 全国から障害のある方又は障害のある方を含むグループの舞台芸術を募集し、発表します。

表出としてのアート

表出のキュレーションアート

表現としてのアート

インクルーシブアート

発表日	平成28年12月10日(土)～11日(日)
会場	ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール
ジャンル	音楽、ダンス、演奏等 ※ジャンル不問
募集内容	大会の舞台上で音楽やダンス等を発表する出演者を募集
応募期間	平成28年6月27日(月)～8月31日(水)
募集団体数	20団体程度

- 障害のある方を含む複数のグループを県内から公募し、大会プロデュース舞台「親指王子」を発表します。

表現としてのアート

発表日	平成28年11月20日(日)、12月10日(土)
会場	刈谷市総合文化センター、ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール)
演目等	(演目) 親指王子 (内容) 親指王子！？と、それを取り巻くカエル、コガネムシ、さかな、リス、ノウサギ、ノネズミ、モグラ、花の妖精たちが織り成す舞台を総勢約100名で演じる。 (台本・演出・振り付け)こかちかこ(プロデューサー) (衣装デザイン)稲波伸行 (舞台美術デザイン)井垣理史
応募期間	平成28年6月27日(月)～7月22日(金)
募集団体数	10グループ(100名程度) 1グループは、指導者1～2名と障害のある方からなる10名程度。グループ構成員全員が、愛知県に在住・在学または在勤であること。

- 県内外で活躍している団体等の舞台芸術を発表します。

表現としてのアート

発表日	平成28年12月9日(金)～11日(日)
会場	ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール等
ジャンル	車いすダンス、語り部、人形劇、演奏等
出演団体数	10団体程度

※主な出演団体等はP8参照

【出演団体等】



車いすダンス名古屋 ビバーチェ

2014年に日本車いすダンススポーツ連盟から独立し、障がいの有無や年齢、性別に関係なく、全ての人が共にダンスを楽しむことを目的として活動を展開している。毎年9月に開催している“車いすダンスフェスティバル”では、車いすダンスの可能性を多くの方々に感じてもらえるダンスの発表と、参加型プログラムで盛り上がる。



わたぼうし語り部 福角幸子

わたぼうし語り部は、障害を個性として生かし、民話や創作童話、自分史などに自分の思いを重ね合わせて語る舞台表現。1983年に初舞台を踏んで以来、33年、わたぼうし語り部たちの語りは聴く人たちの心を揺さぶり、魂の触れ合う喜びを共感し続けている。また多くの語り部たちが全国各地に誕生し、それぞれの地域で語り部としての活動を展開している。障害のある人たちが語り部として自らを表現すること、表現することで社会のなかで自立することをめざしている。



人形劇団フレッシュ&紙風船

フレッシュ

1992年、愛知県立港養護学校の中学部2年生のクラス活動として活動が始まった。在学中から卒業後も、県内をはじめ南は沖縄から北は北海道まで、これまで130回もの公演を続けてきた。2000年国際人形劇フェスティバル(フランス)にも参加した。メンバーは、平日はそれぞれ仕事をしており、休日に集まり練習・公演をしている。

紙風船

紙風船は養護学校卒業後、身体に重度の障がいを持つ車イスのメンバーが中心となり、夢づくりグループとして1996年に結成された人形劇団。現在は名古屋市港区にあるNPO法人愛実の会の運営する「障がい者デイセンター愛実」の中で活動を行っている。今年20周年を迎えて今までに200回を超える公演活動を行ってきた。



ピアノ演奏 越智章仁

1977年3月生まれ。3歳の頃ダウン症と診断される。兵庫県相生市テレジア幼稚園卒。相生市立中央小学校特殊学級に2年間通学。父の死により愛知県に転居、小学部3年から愛知県立佐織養護学校に通学。9歳より母の手ほどきでピアノを始めた。10歳で幼年時代を過ごした相生市で第1回コンサート、以後全国各地にて演奏活動をしている。NHK、CBC、TV愛知等に出演。自作曲が1994年身体障害者スポーツ大会のテーマ曲の一つに選ばれる。1995年日本青年会議所よりトイップ大賞、厚生大臣奨励賞を受賞。佐織養護学校高等部卒業後、私立の作業所「ほっとハウス」(愛知県弥富市)に通勤しながらピアニストとして活動を続けている。20歳を記念してCD「海のように」を制作した。

事業内容 ふれあい交流

ふれあい交流(12月9日～11日)

- 講演会やシンポジウム、ワークショップの実施、バリアフリー映画の上演等を行います。

開催期間	平成28年12月9日(金)～11日(日) ※一部12月3、4日のプログラムあり
会場	愛知芸術文化センター、ナディアパーク

※平成28年6月末時点

【講演会等】



建畠 哲

第10代多摩美術大学学長(2015年～)、美術評論家
 専門は近現代美術。「ヴェネチア・ビエンナーレ」日本館コミッショナー(1990、93年)、「横浜トリエンナーレ」第1回展(2001)アーティストティック・ディレクター、「あいちトリエンナーレ2010」芸術監督など、多くの国際美術展を組織し、アジアの近現代美術の企画にも多数参画。また詩人としても活動している。



伊藤 亜紗

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授、同環境・社会理工学院准教授(兼任)。美学者。現代アートおよび身体について研究するかたわら、雑誌の編集や小説の執筆にもたずさわる。近年は小林耕平の作品に参加。最新作は『ゾン・ピ・タ・ウン』(2013)。著書に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)。『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)が話題になる。



九代玉屋庄兵衛

本名は高科庄次(昭和29年(1954年)生まれ)。25歳で七代目に弟子入り。平成7年(1995年)に玉屋庄兵衛を襲名。平成10年(1998年)江戸末期田中久重が製作した「弓曳童子」完全復元。平成15年(2003年)に日本の江戸からくりの代表作として、自身で製作した「茶運人形」を東京上野の国立科学博物館に寄贈。また、2005年(平成17年)7月、ロンドンの大英博物館に「茶運人形」を寄贈、大英博物館所蔵の『機匠図彙』とともに、日本文化常設館に展示される。同年愛・地球博において愛知県館モニュメントとして「唐子指南車」を制作。2011年11月のポルトガル、チェコなど欧州歴訪等に、各国への日本伝統文化ミッションとしてからくり人形の実演など海外での活動行う。

- 障害の有無に関わらず出演者を公募し、出演者や来場者等が交流する契機となるようなステージ発表を行います。

発表日	平成28年12月10日(土)～11日(日)
会場	ナディアパークデザインホール
ジャンル	音楽、ダンスなど※ジャンル不問
募集内容	障害の有無に関わらず、会場を楽しく盛り上げるステージ
応募期間	平成28年6月27日(月)～8月31日(水)
募集团体数	20団体程度

- 授産製品コンペティションやアートオークション、障害者スポーツや福祉ロボット(人工知能含む)等の紹介や体験コーナーを設けます。

開催期間	平成28年12月9日(金)～11日(日)
会場	ナディアパーク、名古屋栄三越、株式会社三井住友銀行SMB Cパーク 栄

※平成28年6月末時点

【クライミング】



NPO法人モンキーマジック

フリークライミングは、ロープやマットなどで安全確保の上、自分の体一つで壁や岩に向かい合うスポーツです。「難しそう!」「自分には無理!」と思う方も多いかもしれませんが、実は視覚障害者を始め、たくさんの障害のある方が楽しんでいるスポーツです。「見えない人がどうやって登るの?」見えなくても、手探り足探りで力強く登っていきます。晴眼者が、どこにどんなホールド(ホールドは壁に付いた突起物のこと)があるのかを伝えることで、自分のペースで自身の目標に向かって登ることが出来ます。障害者向けに特別にデザインされたものではなく、障害のある人もない人も同じルールで一緒に楽しみ、達成感を味わえるのが、クライミングの魅力の一つです。

【ロボット】



愛知県立大学 次世代ロボット研究所

ロボットによるサッカー競技の最高峰であるロボカップ世界大会で毎年、上位入賞を果たしている小型ロボットチームのロボドラゴンズ(2009年オーストリア大会にて準優勝、2014年ブラジル大会にて第3位)、国内最高峰のロボカップジャパンオープンでトップをいく人型ロボットチームのカメリアドラゴンズ(2014年、2015年連覇)などのロボットが会場に集合。来場者とふれあいます。さらに、愛知県立大学 次世代ロボット研究所では、ロボドラゴンズやカメリアドラゴンズによるサッカー競技の実演・解説の他、人を手助けする先進のロボット技術に関するトークイベントも開催します。

【併催事業】

※ふれあい交流の会場では、ロボカップ2017名古屋大会のプレイベントや障害者雇用に関するイベントを併催事業として計画しています。



ロボカップ2017名古屋大会

ロボット工学と人工知能の融合、発展のために日本の研究者らによって提唱された国際的な自律移動ロボットの競技大会で、第1回(1997年)は名古屋で開催されています。2050年までに人型ロボットでサッカーの世界チャンピオンに勝つという夢に向かって人工知能やロボット工学などの研究を推進し、様々な分野の基礎技術として波及させることを目的としています。

ロボカップ2017名古屋大会のプレイベントとして、会場では、ロボカップでも活躍する人型ロボット「NAO(ナオ)」が登場して、歌ったり踊ったりするパフォーマンスや、様々なコミュニケーションなど、ロボットとの自然な触れ合いが楽しめます。

アーティスト一覧

※平成28年6月末時点

(美術・文芸)

アーティスト名	生年・結成年	出身地	ジャンル	会場
山下清	1922-1971年	東京都	絵画	愛知芸術文化センター
澤田真一	1982年	滋賀県	陶芸	
岡部志士	1994年	石川県	オブジェ	
岩瀬由晴	1971年	愛知県	オブジェ	
安藤昇	1957年	愛知県	陶芸	
山本良比古	1948年	愛知県	絵画	
辻勇二	1977年	愛知県	絵画	
勝部翔太	1978年	島根県	オブジェ	
瀬戸東満	1974年	愛知県	絵画	

(舞台)

団体名及び名称	生年・結成年	活動地	ジャンル	会場
車いすダンス 名古屋ピパーチェ	2014年	愛知県	ダンス	愛知芸術文化センター
人形劇団フレッシュ	1992年	愛知県	人形劇	損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール
人形劇団紙風船	1996年	愛知県	人形劇	//
越智章仁	1977年	愛知県	ピアノ演奏	ナディアパーク (名古屋市青少年文化センターアートピアホール)
福角幸子	1983年	大阪府	語り部	未定

講演会等

開催日	講師名	所属等	会場
12月4日(日)	中津川浩章	エイブル・アート・ジャパン理事	愛知芸術文化センター
	三頭谷鷹史	美術評論家	
	鈴木敏春	NPO愛知アート・コレクティブ 代表理事	
	今泉岳大	高浜市やぎものの里 かわら美術館 学芸員	
12月10日(土)	建島 哲	多摩美術大学学長	愛知芸術文化センター
12月11日(日)	玉屋庄兵衛	からくり人形師	愛知芸術文化センター
	伊藤亜紗	東京工業大学リベラルアーツ センター准教授	ナディアパーク
	栗田季佳	三重大学教育学部講師	
	村林真哉	まつさかチャレンジド希望の園園長	

開催会場



(愛知芸術文化センター)

・愛知芸術文化センターは、愛知県美術館と本格的なオペラが上演可能な大ホールやコンサートホール、演劇・舞踊・音楽などが自由なスタイルで展開できる小ホールを有する愛知県芸術劇場などからなる芸術文化複合施設。(名古屋市東区東桜1-13-2)



(名古屋市民ギャラリー栄)

・名古屋市民ギャラリー栄は、名古屋の中心地である栄に位置し、大・中・小併せて11室の展示室を備えたギャラリー。絵画、彫刻、造形、書、工芸、いけ花など幅広いジャンルの発表の場として利用される、市民による芸術発信の地。(名古屋市中区栄4-1-8 中区役所朝日生命共同ビル)

<7階第1～5展示室 560㎡>



(ナディアパーク デザインホール/名古屋市青少年文化センターアートピアホール)

・デザインホールは、名古屋市の中心地・栄にあるナディアパーク・デザインセンタービル3階にあり、展示会からファッションショー等のイベントに、また客席を設置して講演会・会議等の集会に対応できる都心型の多目的ホール。<553㎡>



・名古屋市青少年文化センターアートピアホールは、「青少年の芸術文化の振興に寄与する」ことを目的として中区栄のナディアパークデザインセンタービル11階に建設されたホール。客席数724席を有し、ダンス、演劇、音楽等の芸術文化活動を中心に、日々様々な公演が開催されている。(名古屋市中区栄3-18-1)



(株式会社名古屋三越栄店)

・名古屋の中心といえば、栄地区と名古屋駅地区が挙げられるが、名古屋三越栄店は、その栄地区の中心にある。ファッションブランドからデパ地下グルメまで充実しており、多くの人気ブランドを集める。また、屋上には現存する日本最古の“屋上観覧車”があり、文化庁により登録有形文化財として登録されている。(名古屋市中区栄3-5-1)



(株式会社三井住友銀行SMBCパーク 栄)

・SMBCパーク 栄は主に、お客様へのさまざまな情報をご提供する施設。毎月、幅広い分野のセミナーやイベントを開催している。(名古屋市中区錦3-25-20)



(損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール)

・「ひまわりホール」は1989年に損害保険ジャパン日本興亜株式会社によって開設された座席数96席の人形劇場。人形劇以外に演劇、朗読、ダンス等の利用があり、年間約8000名の来場がある。特定非営利活動法人愛知人形劇センターによって管理運営されている。(名古屋市中区丸の内3-22-21-19F)

連携事業

※平成28年6月末時点

市町村・大学・美術館との連携

市町村や大学、美術館等と連携し、あいち大会に関連した作品展示やシンポジウムなどの事業を行い地域への展開を図ります。

連携先	会場	日程	内容
豊橋市	穂の国とよはし芸術 劇場プラット	12月10日(土)	トークイベント、あいちアール・ブリュット展応募 作品の展示等
豊田市	豊田市美術館	12月1日(木) ～11日(日)	「第19回豊田市障がい者作品展」とあいち大会と の相互作品展示
春日井市	春日井市役所	10月頃(調整中)	市内の児童・生徒等による、書を使ったあいち大 会出展作品の共同制作
愛知県立芸術大学 愛知県陶磁美術館	愛知県立芸術大学 サテライトギャラリー (名古屋市中区)	7月9日(土) ～23日(土)	愛知県立芸術大学、愛知県陶磁美術館との 連携企画展「越境する身体 西村陽平と出会った 子どもたち」の開催
愛知県立大学	愛知県立大学 次世代ロボット研究所	12月頃(調整中)	トークイベント、ロボットエキシビジョン等

※上記の他、県内で開催される障害者アート関連事業と、第16回障害者芸術・文化祭実行委員会が相互に
広報を行う「パートナーシップ事業」も実施。(犬山市、江南市等)

国民文化祭との連携

「第31回国民文化祭・あいち2016」の県実行委員会事業の中で、プロデュース舞台「親指王子」を行います。

会場	日程	内容
刈谷市総合文化センター	11月20日(日)	県実行委員会事業「伝統と創造フェスティバルあいち」でプロデュース舞台 「親指王子」を発表

他都道府県との連携

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における文化プログラムに向け、障害者芸術の全国における
裾野の拡大や参加機会の拡充を図るため、他都道府県で開催する、サテライト型の芸術・文化祭と連携します。

都道府県	日程	内容
奈良県	11月上旬	(仮称)アートとゲーム展
鳥取県	10月30日(日) ～11月1日(火)	東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者アートフェスタ2016
大分県	11月12日(土) ～11月20日(日)	障がい者アートフェスティバル



企業等との連携

企業や団体等と連携して、ポスター掲示やチラシ配架等の広報や、企業内スペースでの作品展示等を行います。

学校等との連携

学校の授業や校外学習、部活動等の学校行事を活用し、あいち大会に来場してもらえるよう学校向け団体鑑賞プログラムを実施します。

申込校数 延べ20校

ボランティアとの連携

あいち大会の会場運営(作品看視や案内等)やガイダンス(学校団体向け)などを、多くのボランティアに担ってもらい、あいち大会を盛り上げていただきます。

200名程度(平成28年8月から募集開始予定)

プレイベント

	日程	ジャンル	内容等	会場
8月11日～10月23日 あいちトリエンナーレ2016	9/3～4	展示	一般社団法人アティック アート連携PR展示(仮称)	刈谷市総合文化センター(刈谷市)
	9/14～25			岡崎信用金庫貨幣資料館(岡崎市)
	9/22～25			豊田市産業文化センター(豊田市)
	9/14～25	展示	社会福祉施設等との連携PR展示	ギャラリー葵丘(岡崎市)
	9/18	トークイベント	講師:山下完和(やまなみ工房施設長)	
	10/8	トークイベント	講師:久保田翠 (NPO法人クリエイティブサポートレッツ)	穂の国とよはし芸術劇場プラット (豊橋市)
10月29日～12月3日 第31回国民文化祭・あいち2016	11月中旬～	展示 舞台	あいち・オールブリュット展	名古屋市民ギャラリー矢田東文化小劇場 (名古屋市中東区)
	11/18	トークイベント	講師:辻井正次 (中京大学現代社会学部教授)	
	11/19		講師:五十嵐英之 (倉敷芸術科学大学芸術学部准教授)	
	11/25		講師:高橋伸行 (名古屋造形大学教授)	未定

あいち大会の特徴

「芸術・アートの年」にあいち大会を開催

平成28年度の愛知は、8月から12月にかけて「あいちトリエンナーレ2016」、「第31回国民文化祭・あいち2016」、そして「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」と大規模な文化行事を連続して開催する「芸術・アートの年」。愛知の多様で豊かな文化をお楽しみいただけます。

国民文化祭との連携

開催の気運を盛り上げるための広報連携や「第31回国民文化祭・あいち2016」の県実行委員会事業「伝統と創造フェスティバルあいち」(11/20)で舞台発表を行います。



まちなか展開

名古屋市内の会場では、まちなかを散策しながら気軽に作品を観ていただけるよう、ギャラリーや文化施設に加え、多くの方々が利用する百貨店や銀行などで作品の展示等を行います。

県内地域への展開

名古屋市内だけでなく、県内の劇場や美術館、大学等においても作品展示やシンポジウム等を行い県内地域への浸透を図ります。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムにつなげるための取組

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における文化プログラムに向け、障害者芸術の全国における裾野の拡大や参加機会の拡充を図るため、他都道府県で開催するサテライト型の芸術・文化祭と連携します。



協力

愛知県市長会、愛知県市議会議長会、愛知県町村会、愛知県町村議会議長会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会、愛知県知的障害者育成会、一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会
愛知県精神障害者家族会連合会、愛知県精神科病院協会、愛知県自閉症協会・つばみの会、愛知県文化協会連合会、愛知県高等学校文化連盟
愛知県公立文化施設協議会、愛知芸術文化協会、公益財団法人愛知県文化振興事業団、あいちトリエンナーレ実行委員会、愛知県立芸術大学
一般社団法人中部経済連合会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、一般社団法人愛知県観光協会、太啓建設株式会社、岡崎信用金庫
角文株式会社、小原建設株式会社、碧海信用金庫、一般社団法人愛知県測量設計業協会、株式会社須藤事務所、関興業株式会社
豊橋建設工業株式会社、株式会社花田工務店、豊橋商工信用組合、一般社団法人アティックアート、株式会社名古屋三越
株式会社三井住友銀行SMBCPARK 栄、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社NTTドコモ東海支社、東陽倉庫株式会社
名古屋鉄道株式会社、社会福祉法人中日新聞社会事業団、近藤産興株式会社

後援

NHK名古屋放送局、株式会社CBCテレビ、東海テレビ放送株式会社、中京テレビ放送(株)、名古屋テレビ放送株式会社、テレビ愛知株式会社
株式会社中日新聞社、朝日新聞名古屋本社、毎日新聞社中部本社、株式会社読売新聞東京本社中部支社、株式会社日本経済新聞社名古屋支社
株式会社産業経済新聞社中部総局、一般社団法人共同通信社名古屋支社、株式会社時事通信社名古屋支社、株式会社岐阜新聞社名古屋支社
株式会社日刊工業新聞社名古屋支社、株式会社中部経済新聞社、株式会社東愛知新聞社、信濃毎日新聞社名古屋支社
株式会社東京スポーツ新聞社中部支社、株式会社スポーツニッポン新聞社名古屋総局、愛知県公立高等学校長会、愛知県私学協会
一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会、愛知県小中学校長会、愛知県特別支援学校長会、名古屋芸術大学、名古屋造形大学
名古屋音楽大学、金城学院大学、名古屋学芸大学、国立大学法人愛知教育大学

(予定)

内閣府、文化庁

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
社会福祉法人日本盲人会連合、一般財団法人全日本ろうあ連盟、全国手をつなぐ育成会連合会、公益財団法人日本知的障害者福祉協会
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、一般社団法人日本自閉症協会

www.powerofart-aichi.jp

お問合せ先

第16回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局
〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2
電話 052-954-6697 FAX 052-954-6920
E-mail powerofart@pref.aichi.lg.jp